

## 平成29年度 第2回 大阪府立柏原東高等学校 学校協議会 議事録

日 時 : 平成29年11月13日(月) 14:00～

場 所 : 柏原東高等学校 校長室

出席者 : 【協議委員】

福永 光伸 (大阪教育大学教職員研究センター 教授)

太田 貴之 (柏原市立堅下北中学校 校長)

武田 保和 (PTA会長)

中川 円香 (同窓会副会長)

【事務局】

水元 誠致 (校長)

西田 悟 (教頭)

吉岡 俊治 (教頭)

山畑 須美子 (首席、運営委員・3学年主任)

吉野 達也 (首席、運営委員・2学年主任)

川田 明寛 (生徒会部長)

1 校長あいさつ

2 会長挨拶

3 B-up タイム見学

4 平成29年度取組みについて

(1) 八尾翠翔高校との機能統合について (水元校長)

- ・本校の特色ある教育を八尾翠翔高校に引き継ぎ、柏原東高校は平成30年度の入試選抜を最後に募集停止する。
- ・9月1日に集会で生徒へ、その後文書で保護者へ連絡、PTA、同窓会へは役員会でも連絡をした。
- ・従来どおり学校見学会、オープンスクールを開催し、受験生への広報を行う。

(2) 学校教育自己診断について (西田教頭)

- ・生徒向けは、本日実施。保護者向けは封書にて配付済みで、現在回収中。
- ・今年度よりいじめに対するアンケート項目が入った。
- ・教員で共有し分掌等の来年方針に盛り込めるように例年より一ヶ月早く実施した。

(3) 授業アンケートについて (吉岡教頭)

- ・全教員が授業アンケートの結果を分析し、課題と改善点を記入するワークシートを作成した。
- ・項目8、9に関しては府立高校全部共通。
- ・学校全体平均は100点満点換算で約70点、肯定的評価の割合は約79%である。どちらも年々数値が向上している。
- ・アンケート結果をもとに、毎年改善に取り組んできたことが、肯定的評価向上につながっている。

(4) 若手研修について (山畑首席)

- ・年間15回の研修を予定している。
- ・教職員が相互に3時間分の授業見学を行い、授業見学シートに記入して、授業者と見学者で意見交換を実施する。
- ・12月に、改めて全体で生徒指導を全員で行うことの意味について話し合うとともに、今後を見据えてに行事等の在り方を検討する研修会を実施する。
- ・次年度も内容を検討し、若い教員がより自発的に参加できる研修にしていきたい。
- ・本校最後の生徒が、今よりさらに満足度の高い進路実現ができるよう研修を進めていきたい。

(5) 生徒の出席状況について (吉岡教頭)

- ・今年度は10%減らす目標を立てている。
- ・遅刻は昨年度の89%、欠席は85%で10%減に順調に向かっている。
- ・気持ちで倒れてしまいそうな生徒を、寄り添い、励まして、しっかり引っ張っていくことで遅刻を減らしていきたい。

(6) 中高連携事業について (西田教頭)

- ・年間5回、柏原市立中学校での書道の授業を行っている。先週は、堅下北中学校で実施し、授業参観とも重なって、たくさんの方に見学していただいた。芸術的な作品をめざして授業を行っている。
- ・連携書道展は、リビエールホールで1月26日から29日まで実施するので、たくさんの方に見に来ていただきたい。
- ・今年も国分中学、柏原中学、地元ライオンズクラブと協力をして挨拶運動を行う予定である。
- ・部活関係では、バドミントン部とバスケットボール部が合同練習を行っている。

(7) 大阪教育大学との連携事業について (西田教頭)

- ・本校生徒6名が、大教大のキャンパスガイドに参加させていただいた。
- ・大教大学生の柏原東高校でのフィールドワークでは、生の学校や教師の姿を見てもらって、教師になる気持ちの少ない学生にも目を向けてもらえるよう実体験を含めた話をしている。
- ・毎年書道で教育実習生を受け入れている。
- ・連合教職大学院実践教育科から、毎年2名の学生を受け入れている。しっかり頑張ってくれているので、こちらも最後まで指導していきたい。
- ・国際交流センターからは、交換留学生6カ国以上の留学生を招待し、文化交流を含めて本校生徒と1日体験を実施している。書道体験や本校生徒会執行部生徒の手作りでの体験活動など、双方にとって記憶に残るものとなっている。

5 いじめ対策委員会・人権教育委員会より

- ・7月、12月の年2回「安全で安心な学校生活を過ごすために」というアンケートを実施している。今年度は、さらにいじめに関するアンケートを9月末に実施した。アンケートの結果からは、いじめの問題は出てこなかった。
- ・教職員研修は、「障害を理由とする差別の解消に推進に関する法律」について、具体的な事例を交えて、解説していただく予定である。

## 6 各委員からの意見・質問

### 【太田委員】

授業アンケートについて、肯定的評価を上げていくという事は中学でも目標としている。経年変化が上昇傾向で推移していることは、学校の取り組みの成果だと思う。中学も授業規律に重きを置きがちだが、子供たちは正直にアンケートをつけていると思われる。理解が深まっている授業ほど、評価は高いと思う。

中高連携、布澤先生の授業の時間が授業参観の日で、保護者から、子供たちを褒めて伸ばしていただく授業をみてとても良かった、との感想をいただいた。

### 【中川委員】

同窓会の副会長をしている。1年生のB-u pを見学したが、この生徒たちが3年生になったとき1年生がいない、という事を思うと、複雑な気持ちだった。

### 【武田委員】

私は、近畿のPTA協議会のいじめ対策委員に入っている。今日も新聞でいじめに関する記事があつて、早期発見が一番である、小中学生は先生や親に相談することが多く、高校は友達に相談することが多いと書かれていた。

### 【福永会長】

学生の現場実習の中で、公立の指導はもっとゆるいと思っていた、という意見があつた。しかし、授業や保健室の様子を見学するなかで、厳しいだけではなく、生徒との距離を上手にとっているということに気付くことができた。実習に参加した学生が所属するコースは教員にならなくてもよいコースだが、教員になりたいと思った学生が、どうすれば教員になれるか、と研究室まで相談に来た。こちらとしてもお礼を申し上げたい。ぜひ次年度以降も学生を連れて行かせていただきたいと思っている。